

委員長方針

一般社団法人摂津青年会議所
摂津の未来開発委員会
委員長 長野 力

入会して3年目となり昨年はまちづくり委員会の委員として「明るい豊かな社会」の実現を目標に例会、委員会運営に取り組んでまいりました。本年度、摂津の未来開発委員会委員長の大役を拝命し、初の理事及び委員長という職に身の引き締まる思いでございます。

新型コロナウイルスを起因とするパンデミックは、社会や今までの生活を一変させる事態となりました。このような危機的な状況だからこそ川端理事長がおっしゃるように、地域の未来のために何が必要とされているかを考え、新たな手法を用いて失敗を恐れず挑戦する勇気がJC活動、運動には必要です。「想いをカタチに～未来につなぐ希望への挑戦～」のスローガンの下、委員会のメンバー一人ひとりがJC活動、運動を社会や地域課題を解決できる貴重な機会だと捉えて能動的に失敗を恐れずに挑戦し、挑戦したその成果を発揮できる場を作り出すことで、メンバーの想いをカタチにするのが私の委員長としての務めです。

私は、摂津の未来開発委員会を摂津市の未来をよりよくするために一年間様々なことに挑戦する委員会にしたいと考えます。そのためには摂津市が抱える諸問題を探り、それらを解決するには何が必要なのか手法を考え議論を重ねた上で、課題解決の糸口となるような例会とまちづくり事業を構築し展開して参ります。

近年、SNSやインターネットを活用することで、様々な情報を集めることや発信することが当たり前となりました。JCI摂津が摂津市のためにどのような活動、運動を行っているのかを、広報と連携しSNSやホームページを今まで以上に活用し広めることで摂津市民の皆様へ「摂津青年会議所ってこんな団体なんだ」「摂津のためにこんなことをしているんだ」ということを知って頂けるように取り組んでまいります。JCI摂津の活動や思いを知って頂くことは会員拡大にもつながります。私達の仲間が増えることは「明るい豊かな社会」の実現に向けた大きな一歩となると考えます。明るい豊かな摂津市の創造を目指し能動的に活動、運動する青年を、年間を通して一人でも多く探し集めてまいります。

また、10月度3LOM合同例会では、主管LOMの担当委員長として、JCI茨木、JCI高槻と連携を図り、3LOMメンバーに学びを持ち帰っていただくと共に、親睦を深めることができるように事業を構築してまいります。

12月度例会では、一年間のJC活動を振り返り、今後のJC活動にさらなる意欲をもって取り組む機会となるよう、褒章・慰労に努めます。送る夕べでは、卒業生を盛大に送り出せるよう専務理事と密に連携し、感謝の気持ちをもって取り組んでまいります。

結びとなりますが、LOMのさらなる発展を根底から支える立場としての自覚をもって、理事長、専務理事をはじめ、各委員会との連携を密にして2022年度のJCI摂津における例会、事業が成功するように委員会を運営してまいりますので、皆様のご指導ご鞭撻ご協力を宜しくお願い致します。